



板橋区立美術館
ITABASHI ART MUSEUM

PRESS RELEASE 2025/6

2025 イタリア・ ボローニャ 国際絵本 原画展



ITABASHI ART MUSEUM

2025.6.27 金
- 8.11 月祝

開館時間 9:30-17:00 (入館は16:30まで)
休館日 月曜日、7/22 (火) ※7/21、8/11は開館
観覧料 一般900円、大学生600円、高校生以下無料

主催：板橋区立美術館、一般財団法人 日本国際児童読書推進委員会(JIBBY)
協力：Bologna Children's Book Fair、株式会社 株式会社
Bologna Illustrators Exhibition, curated by Bologna Children's Book Fair / Bologna Fair in partnership with JIBBY
板橋区立美術館 東京板橋区赤塚 5-34/27
TEL.03-3579-3251 FAX.03-3579-3252
<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/>

*I will remember
Itabashi Sydney
Smith*

(Illustration by Sydney Smith)

2025 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展

2025年6月27日(金)～8月11日(月・祝)

報道関係者の皆さま

平素より板橋区立美術館の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび当館では、2025 年 6 月 27 日（金）～8 月 11 日（月・祝）の会期にて、「**2025 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展**」を開催することとなりました。資料を送付いたしますので、広報にご協力くださいますようお願い申し上げます。

※取材・広報写真などご入用の場合は、メール又は FAX フォームにてお申込みください。

※本展をご紹介頂いた際は、当館にご一報いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

展覧会概要

「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 (Illustrators Exhibition)」は、児童書のためのイラストレーション・コンクールの入選作品を紹介する展覧会として、ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェアに伴って毎年開催されます。児童書のトレンドや今後の動向を展観することができ、新人イラストレーターたちの登竜門としても知られています。59 回目となる本年は、89 の国と地域から過去最多となる 4374 名の応募があり、日本の 6 名を含む 29 の国と地域の 77 名（76 組）が入選しました。本展ではその全入選作品を一堂に展示いたします。あわせて、2024 年ボローニャ SM 出版賞を受賞したブラジルの若手イラストレーター、エンリケ・モヘイラの新作絵本と、2024 年に国際アンデルセン賞・画家賞を受賞したシドニー・スミスの作品を特別展示としてご紹介します。また、会期中には絵本に関する講演会や連続講座、ワークショップなどのイベントを予定しています。

開催概要

展覧会名	2025 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展 2025 Bologna Illustrators Exhibition
会期	2025 年 6 月 27 日（金）～8 月 11 日（月・祝）
会場	板橋区立美術館
開館時間	午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
休館日	月曜日、7 月 22 日（火）（但し 7 月 21 日（月・祝）、8 月 11 日（月・祝）は開館）
観覧料	一般 900 円、大学生 600 円、高校生以下無料 ＊65 歳以上・障がい者割引あり（要証明書）
主催	板橋区立美術館、JBBY（一般社団法人日本国際児童図書評議会）
協力	Bologna Children's Book Fair、株式会社 偕成社 Bologna Illustrators Exhibition, curated by Bologna Children's Book Fair / BolognaFiere in partnership with JBBY

ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェアとボローニャ国際絵本原画展

ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア (Bologna Children's Books Fair / 以下、BCBF) は、毎年春にイタリア北部のボローニャ市で行われる児童書専門の見本市として 1964 年に始まり、2025 年には 62 回目を迎えました。BCBF は 4 日間にわたって開催され、出版社による版權の売買のみならず、展覧会や講演会をはじめとする文化イベントも多数行われ、児童書の新たな企画を生み出す場として世界中から注目されています。

ボローニャ国際絵本原画展（以下、ボローニャ展）は、BCBF に伴って開催される児童書のイラストレーションの展覧会です。1967 年から毎年開催されており、1976 年よりコンペ形式となりました。出版・未出版を問わず子どもの本のために制作した作品（5 枚 1 組）があれば応募することができます。国籍の異なる 5 人の審査員は毎年入れ替わり、厳正な選考が行われます。実験的な試みも積極的に受け入れ、多様性を重視しながら審査が行われます。

本展は単なる展覧会というだけでなく、イラストレーションの現在や今後の動向、また多様な表現を広く紹介するとともに、新しい才能との出会いの場でもあります。

特別展示 シドニー・スミス

2024 年に国際アンデルセン賞・画家賞を受賞したカナダの絵本作家シドニー・スミスの作品を特別展示いたします。絵本原画を含む約 50 点の作品とスケッチブックをぜひご覧ください。

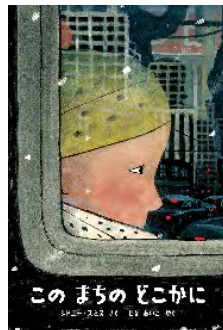
板橋区立美術館は、2023 年にイラストレーター向けワークショップ「夏のアトリエ」のためにスミスを招聘しました。本展のメインビジュアルは、スミスが当館滞在中に描いたものです。また、本展カタログの表紙はスミスによる描き下ろしとなります。これらの原画もあわせてご紹介します。



2025ポローニャ展カタログ 表紙原画

シドニー・スミス Sydney Smith

1980 年、カナダのノバスコシア州に生まれる。2015 年に出版した絵本『おはなをあげる』(文:ジョナルノ・ローソン/邦訳版はポプラ社刊)でカナダ総督文学賞を受賞。その後も『うみべのまちで』(ジョアン・シュウォーツ、2017 年/邦訳版はBL 出版刊)や、『おばあちゃんのにわ』(文:ジョーダン・スコット、2023 年/邦訳版は偕成社刊)、『ねえ、おぼえてる?』(2023 年/邦訳版は偕成社刊)などを出版し、いずれも高い評価を得ている。2024 年、国際アンデルセン賞・画家賞を受賞。2025 年夏には新作絵本『あらしの島で』(邦訳版は偕成社刊)を出版予定。



『このまちのどこかに』
(邦訳版:評論社、せなあいこ訳)



『おばあちゃんのにわ』
(邦訳版:偕成社、原田勝訳)



『ぼくは川のように話す』
(邦訳版:偕成社、原田勝訳)

特別展示 ポローニャ SM 出版賞 エンリケ・コゼール・モレイラ



「La danza del cielo y la tierra
(空と大地のダンス)」
SM 出版、2025 年

「ポローニャ SM 出版賞」は、BCBF とスペインの SM 財団によって 2010 年に設立されました。イラスト分野の新しい才能を発掘、奨励、サポートすることを目的としたもので、毎年 35 歳以下のポローニャ展入選者を対象に受賞者が選ばれます。受賞者にはスペインの出版社である SM 出版から絵本を出版する機会と賞金が与えられます。

本展では、2024 年に「ポローニャ SM 出版賞」を受賞したブラジルのイラストレーター、エンリケ・コゼール・モレイラ (Henrique Coser Moreira) の新作絵本「La danza del cielo y la tierra (空と大地のダンス)」をご紹介します。ブラジルの先住民の儀式に着想を得てつくられたサイレント・ブックです。ポローニャ展から羽ばたく若手イラストレーターの活躍をぜひご覧ください。

エンリケ・コゼール・モレイラ Henrique Coser Moreira

1998 年生まれ。ブラジル出身。グラフィックデザインを学んだあと、2022 年に絵本「O primeiro dia」(Planeta Tangerina 刊)でデビュー。同作品で 2023 年のポローニャ展入選と、同年のポローニャ・ラガッツィ賞を受賞し注目を集める。その後も 2025 年ポローニャ・ラガッツィ賞コミックス部門のスペシャル・メンションを授与された「O Sr. Gato Mágico」(2024 年、Planeta Tangerina 刊)や、2024 ポローニャ展入選作をもとにした「Tatu do Azul」(2024 年、Edições Barbatana)など、次々と絵本を発表している。

ボローニャ国際絵本原画展 期間中の関連プログラム

板橋区立美術館のボローニャ展は多様なイベントも魅力のひとつ。展覧会期間中、講演会、子ども向けの造形ワークショップ、イラストレーター向けの連続講座、など、絵本に関するイベントを多数開催します。

※予約・申込方法などは、HP にてご確認ください。

講演会／トークイベント

入選者や審査員など、ボローニャ展に関わるさまざまな方をお招きし、講演会やトークイベントを実施します。それぞれ定員は 60 名です。

○オープン記念トークイベント「2025 ボローニャ展入選者にきく」

日時：2025 年 6 月 27 日（金）14:00～15:30

講師：うめだよしの、神鳥海南江、波田佳子（2025 ボローニャ展入選者）

○講演会「わたしの仕事」

日時：2025 年 6 月 29 日（日）14:00～15:30

講師：ギャビー・バザン（アーティスト／フランス）※通訳あり

主催：板橋区立美術館、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本

○講演会「ぼくの絵本づくり（仮）」

日時：2025 年 7 月 6 日（日）14:00～15:30

講師：クリス・ホートン（絵本作家、2025 ボローニャ展審査員／アイルランド出身）

通訳：森泉文美（本展コーディネーター）

○トークイベント「ボローニャ報告ー日本の絵本のプロモーション」

日時：2025 年 7 月 11 日（金）14:00～15:30

講師：広松由希子（絵本評論家）、高野直子（海外出版コーディネーター、編集者）、田村彩（独立行政法人 国際交流基金）、松岡希代子（板橋区立美術館館長）

○講演会「新しいポルトガルの絵本」

日時：2025 年 7 月 12 日（土）14:00～15:30

講師：木下真穂（ポルトガル語翻訳家）

○トークイベント「シドニー・スミスに魅せられてー編集者と教え子が語る」

日時：2025 年 7 月 20 日（日）14:00～15:30

講師：広松健児（偕成社 編集部部長）、新海美穂、ケン・ニイムラ、藤原千晶、矢部雅子（2023 夏のアトリエ参加者）、松岡希代子（板橋区立美術館館長）

○トークイベント「〈絵本のまち板橋〉が結ぶ絵本と SDGs」

日時：2025 年 8 月 3 日（日）14:00～15:30

講師：笹岡智子（公財 東京子ども図書館）、安川史章（板橋区政策企画課）、松岡希代子（板橋区立美術館館長）ほか

○対談「2025 ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア総復習」

日時：2025 年 8 月 10 日（日）14:00～15:30

講師：広松由希子（絵本評論家）、松岡希代子（板橋区立美術館館長）

イラストレーター向けイベント

○絵本づくりを知るー大村製本齋藤社長に聞く

板橋区にある大村製本株式会社は、絵本作りに特化した製本会社です。製本会社の目線から、絵本作りについて伺います。

日時：2025 年 8 月 2 日（土）14:00～15:30

講師：齋藤 和明（大村製本株式会社 代表取締役社長）

定員：30 名（事前予約制）

子どもたちと中高生に向けて

○しかけ絵本をつくろう

日時：2025年7月26日（土）、27日（日）の2日制
13：30～16：30

講師：岡村志満子（グラフィックデザイナー、絵本作家）

対象・定員：全日程参加できる小学1～6年生・20名

○中高生絵本講座

日時：2025年8月6日（水）10：00～16：00

講師：なかむらしんいちろう（絵本作家、日本児童教育専門
門学校専任講師・女子美術大学非常勤講師）

対象・定員：中学生及び高校生・12名

○こどもアトリエ

板橋区立美術館で年間を通して実施している、こども向けの
造形ワークショップです。ポローニャ展期間中にも下記の通
り実施します。

2025年7月21日（月・祝）eto

（絵本作家、イラストレーター）

2025年8月9日（土）むらかみひとみ（絵本作家）

時間：10：00～12：00／14：00～16：00（各1回制）

対象：3歳から小学生のお子さんとその保護者

定員：各回12組

第25回 夏のアトリエ

板橋区立美術館の恒例イベントである、絵本作りの第一線で活躍する専門家を講師とした、イラストレーター向けの5日間の
ワークショップです。第25回目となる今年の講師は、2025ポローニャ展審査員のクリス・ホートン（アイルランド出身）です。

○第25回夏のアトリエ 「自分の〈声〉を視覚化する：言いたいことを見えるようにするために」

日時：2025年7月1日（火）～5日（土）の5日制 10：00～16：00

講師：クリス・ホートン（絵本作家、2025ポローニャ展審査員／アイルランド出身）

通訳：森泉文美（本展コーディネーター）

定員：20名（書類選考あり）

さわる絵本づくりワークショップ

さまざまな感覚に訴える作品を制作するイタリアのアーティストユニット、ミラビリアによる「さわる絵本」づくりに関する、イラストレーター向け
ワークショップです。板橋区立美術館では、2020年頃より、「さわる絵本」の収集、ワークショップやイベントを実施しています。

○絵本講座「さわる絵本づくりー指先で感じる物語」

日時：2025年7月8日（火）、9日（水）の2日制 10：00～16：30

講師：ミラビリア（アーティストユニット／イタリア）

通訳：森泉文美（本展コーディネーター）

定員：20名（書類選考あり）

展示会

○展示会「ニュー・スパニッシュ・ブックス」

100冊のスペインの新しい絵本を手にとってご覧いただけます。

日時：2025年7月30（日曜日）13時30分～16時30分 ※出入り自由

協力：在日スペイン大使館経済商務部

参加費無料、申込不要

2025 絵本のまち板橋 & ボローニャ絵本さんぽ

2025 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展と同時期に、板橋区内や周辺で関連イベントが行われます。「ボローニャ絵本さんぽ」では、今年もカフェ、書店、ギャラリーなどを会場に、これまでのボローニャ展入選者による展覧会などを予定しています。

※詳細は決まり次第、当館 HP でご案内します。



絵本のまち板橋

「絵本のまち板橋」とは？

板橋区は、イタリア・ボローニャをはじめ国際的な絵本ネットワークを持つ美術館、世界 100 か国・70 言語・30,000 冊の海外絵本を所蔵する中央図書館（いたばしボローニャ絵本館）を有し、印刷・製本産業が盛んな地域です。「絵本のまち板橋」では、こうした区の特徴を生かし、文化振興、産業振興、観光振興、教育活動などあらゆる分野において、絵本を活かした取り組みを進めています。

巡回展情報

2025 年 8 月 16 日（土）～ 10 月 13 日（月・祝） | 西宮市大谷記念美術館（兵庫）

2025 年 11 月 7 日（金）～ 12 月 14 日（日） | 石川県七尾美術館（石川）

交通のご案内

- 徒歩** 都営三田線「西高島平駅」下車約 14 分
- 路線バス** 1 時間に 1～2 本程度 所要時間約 10 分
- ①東武東上線「成増駅」北口 2 番のりば
「増 17 区立美術館経由 高島平操車場」行き「区立美術館」下車
※東京メトロ有楽町線・副都心線「地下鉄成増駅」も利用可（5 番出口）
 - ②都営三田線「高島平駅」西口 2 番のりば
「増 17 区立美術館経由 成増駅北口」行き「区立美術館」下車
- タクシー** 東武東上線「成増駅」北口または都営三田線「高島平駅」西口より約 5 分

2025 年度の板橋区立美術館の予定

- 4/26（土）～ 6/15（日） | 館蔵品展 あ那时的風景 特集展示 あその風景を見つめる目
- 8/23（土）～ 9/28（日） | 館蔵品展 狩野派の中の人
- 11/8（土）～ 2026/1/12（月・祝） | 戦後 80 年 戦争と子どもたち（仮称）
- 3/7（土）～ 4/12（日） | 焼絵展（仮称）

お問い合わせ

板橋区立美術館 〒175-0092 東京都板橋区赤塚 5-34-27
Tel. 03-3979-3251 Fax. 03-3979-3252
E-mail. info@itabashiartmuseum.jp
担当学芸員：高木佳子、村内みれい

2025 ボローニャ国際絵本原画展 広報用画像

いずれも 2025 年入選作品より

1



Marco Quadri (マルコ・クワドリ/イタリア)
「エイリアンはみどりじゃない」

2



うめだよしの (日本) 「花といっしょ」

3



Lucie Lučanská
(ルツィエ・ルチャンスカー / チェコ共和国)
「テントのなかで」

4



Kyoung-mi Ahn
(韓国/アン・キョンミ)
「仮面の夜」

5



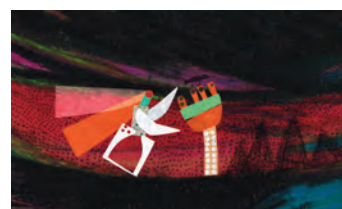
Ana Terral (アナ・テラル/モルドバ共和国)
「ピンクの町で」

6



木村友美 (日本)
「きっと世界のどこにでも起こっている物語」

7



Maral Forouzesh
(マーラール・フォルーズシュ / イラン)
「マリーという名の少女」

8



Negrescolor (ネグレスコロール/スペイン)
「世界の言語」

9



umeco (日本)
「そこにある」

10



小池結衣 (日本)
「ここにあります」

11



Melissa Siles
(メリッサ・シレス/ペルー)
「ペット」

12



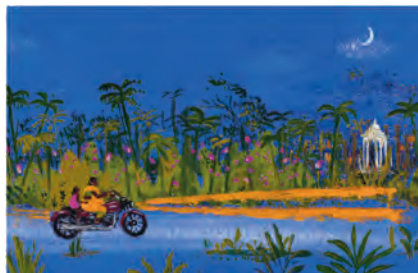
波田佳子 (日本)
「かわいい ちいさな さくらんぼ」

13



神鳥 海南江 (日本) 「ゆうぐれ」

14



Ishita Jain (イシタ・ジェイン / インド)
「真夜中のバイク」

15



Rocío Katz
(ロシーオ・カッツ/アルゼンチン)
「泳ぐ」

広報写真申込書

板橋区立美術館 広報担当行 ファックス：03-3979-3252
「2025 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

申請者 (送付先)	お名前	
	ご所属	
	出版物・番組名	
	発行・放送予定日	月 日 : ~ :
	ご住所	〒
	電話番号	
	FAX	
	Eメール	
	招待券	*有料展の際は、展覧会の招待券（10 組 20 名様まで）を読者プレゼント用に提供いたします。 招待券を 希望する（ 枚）／ 希望しない

広報用写真	_____ 枚	（画像のご希望がある場合は○を付けて下さい）
	①	マルコ・クワドリ（Marco Quadri イタリア）「エイリアンはみどりじゃない」
	②	うめだよしの（日本）「花といっしょ」
	③	ルツイエ・ルチャンスカー（Lucie Lučanská チェコ共和国）「テントのなかで」
	④	アン・キョンミ（Kyoung-mi Ahn 韓国）「仮面の夜」
	⑤	アナ・テラル（Ana Terral モルドバ共和国）「ピンクの町で」
	⑥	木村友美（日本）「きっと世界のどこにでも起こっている物語」
	⑦	マーラル・フォルーズシュ（Maral Forouzesh イラン）「マリーという名の少女」
	⑧	ネグレスコロール（Negrescolor スペイン）「世界の言語」
	⑨	umeco（日本）「そこにある」
	⑩	小池結衣（日本）「ここにいます」
	⑪	メリッサ・シレス（Melissa Siles ペルー）「ペット」
	⑫	波田佳子（日本）「かわいい ちいさな さくらんぼ」
	⑬	神島海南江（日本）「ゆうぐれ」
	⑭	イシタ・ジェイン（Ishita Jain インド）「真夜中のバイク」
	⑮	ロシーオ・カツツ（Rocio Katz アルゼンチン）「泳ぐ」

写真貸出条件

- 1 画像は、本申込書記載の展覧会を紹介する目的以外ではご使用いただけません。
 - 2 データを第三者に渡すことは禁じます。使用后、画像データは消去してください。
 - 3 展覧会の名称、期間、会場は適切な場所、大きさを明示していただくようお願いします。
 - 4 作品画像は全図で使用してください。部分使用やトリミングについては事前に必ずご相談ください。
作品に文字を重ねることはできません。
 - 5 ご掲載の際には、イメージ貸出時に添付するクレジット（作品名、制作年等）を画像の傍らに明記してください。
 - 6 掲載紙（誌）は、1冊当館広報宛てにご寄贈ください。Web サイトの場合は掲載時にお知らせください。
- ※ 画像データ（jpeg）でお貸し出しいたします。その際、一緒にお送りするクレジットもご確認ください。
- ※ 基本情報確認のため、お手数ですが掲載前に校正紙をお送りください。

板橋区立美術館

〒175-0092 東京都板橋区赤塚 5-34-27

電話：03-3979-3251 ファクス：03-3979-3252

Eメール：info@itabashiartmuseum.jp